

1月23日(土曜日)「イサクからヤコブへ」

【新改訳 2017】

創世記 28・10-19

「……『わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。わたしはあなたが横たわっているこの地を、あなたとあなたの子孫に与える。……地上のすべての民族は、あなたとあなたの子孫によって祝福される。』」(13、14 節)

神の祝福の約束は、父イサクからヤコブに引き継がれることとなりました。ヤコブは、兄エサウから巧妙な仕方でも長子の権利を譲り受け、その後、母リベカの入知恵もあって、父から長子に与えられる祝福そのものも受けてしまいました。兄エサウはヤコブを恨んで殺そうとしましたが、それを知った母はヤコブに、自分の生地での親戚のもとに難を逃れるよう勧め、父イサクは彼を祝福し、その地で妻を得るようにと送り出しました。

旅の途中、主は夢の中でヤコブに語りかけてくださいました。冒頭の聖句はその一部ですが、全体には七重の祝福がありました。祝福の約束は、それに適当にかかわる者より執拗に本気で求める者に託されることの一例でもあるようです。

～祈り～

神さま。あなたは、あなたの祝福に適切にかかわる者よりは、
真剣に求める者に、それを与えることを教えられました。どう
か、そのような者としてください。

【学びのために】

七重の祝福。①ヤコブが横になっている地を彼と子孫に与え
る。②子孫は地のちりのように多くなる。③すべての民族が彼
と子孫によって祝福される。④主は彼らとともにおられる。⑤
どこへ行っても彼を守り、連れ帰る。⑥彼を決して捨てない。
⑦彼に約束したことは必ず守る。